

保証書

TGK 東京硝子器械株式会社

保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - 不適当な取扱い、使用による故障
 - 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

型番	FWB-388	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日より1ヵ年		
お客様	お名前 様		
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		

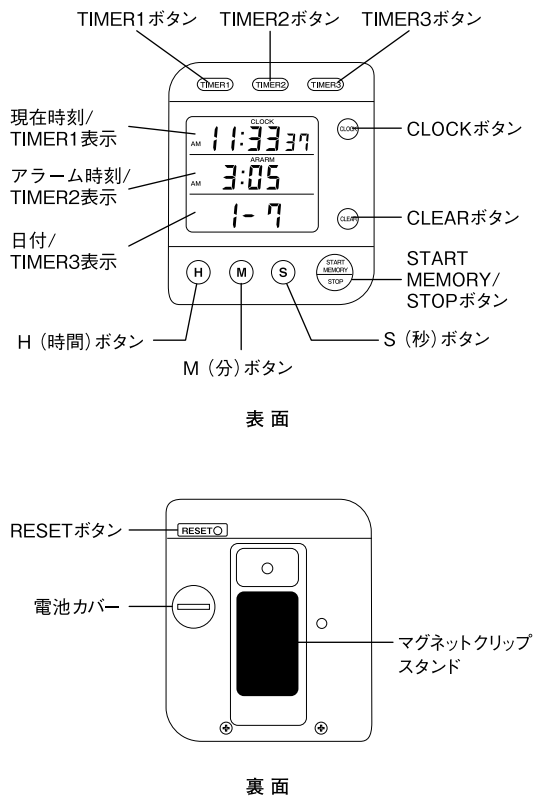
販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

TGK 東京硝子器械株式会社

0120-393913
http://www.tgk.co.jp

110102

3.各部の名称



3チャンネルタイマ 型番:FWB-388

取扱説明書

4.操作方法

4-1.はじめに

- 本体裏の電池ケースのカバーをコインなどで矢印の方向に回して外します。
- 新しい電池を装填してください。電池は上側を+にして正しく装填してください。
- 電池の装填が終了したら電池カバーを元の状態に戻して[RESET]ボタンを押してください。

4-2.操作方法

- 表示切替について
[CLOCK]ボタンを押す毎に時計表示とタイマ表示が切替わります。時計表示では表示部最上段に“CLOCK”が表示され、タイマ表示では“TIMER1~TIMER3”がそれぞれ表示されます。
- 時計の設定方法
 - 表示切替にて時計表示にします。
 - [CLOCK]ボタンを3秒間押し続けます。最上段(時刻表示)が点滅して設定モードになります。
 - [H]ボタンで時を[M]ボタンで分を設定します。一回押す毎に表示が1つつカウントアップされます。更に長押しすると早送りできます。[S]ボタンを押すと秒が“00”にリセットされます。
 - 現在時刻の設定終了後にもう一度[CLOCK]ボタンを押すと中段(アラーム表示)が点滅します。[H]ボタンで時を[M]ボタンで分を設定します。ここで[START MEMORY/STOP]ボタンを押す毎にアラームマークが点灯/消灯しアラームのセット/解除ができます。
 - アラーム時刻設定後にもう一度[CLOCK]ボタンを押すと最下段(日付表示)が点滅します。[H]ボタンで月を[M]ボタンで日を設定します。ここで[START MEMORY/STOP]ボタンを押す毎に表示を「月-日」、「日-月」の順に切り換えられます。
 - 日付の設定終了後にもう一度[CLOCK]ボタンを押すと設定モードが終了し時計モードに戻ります。また何もせずに2分間放置すると自動的に時計モードに戻ります。

このたびは、弊社商品をお求めいただき、誠に有り難うございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本器を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
誤った使い方は火災や感電、故障の原因となります。

⚠ ご使用上の注意

- 電池は幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万一、飲み込んだばあには直ちに医師に相談してください。
- 使用済みの電池は直ちに適切な方法で破棄してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

備考

寒い場所での屋外使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。暖房器具などの周辺での使用は本体のプラスチック部の変形・故障の原因になり、また電池の消耗が常温での使用に比べて速くなります。

備考

直射日光のあたる場所でのご使用や放置・保管しないでください。極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

メンテナンス

⚠ 警告

本器を清潔に保つため、薄めた中性洗剤をふくませた柔らかい布でこまめに拭いてください。
アルコールやシンナー、ベンジンなどの揮発性洗剤は、絶対に使用しないでください。

- 時計モードの状態では[H]ボタンを押す毎に時刻表示が12時間 / 24時間時計に切り換わります。12時間時計の場合はAM、PM表示されます。
- タイマ(カウントダウン)の使用方式
 - 表示切替にてタイマ表示にします。タイマはTIMER1~TIMER3の3つのタイマの設定ができます。
 - タイマ1の設定を行う時は[TIMER1]ボタンを2秒以上押しすと、表示部の“TIMER1”が点滅し設定モードになります。
 - [H]ボタン(時間) [M]ボタン(分) [S]ボタン(秒) で希望の時間に設定します。設定は1秒単位で、最大99時間59分59秒迄設定可能です。ボタンを一回押すごとに表示が1つつカウントアップされます。更に長押しすると早送りできます。設定終了後に、再度[TIMER1]ボタンを押すと設定が完了します。
 - タイマ2、3も使用する時は[TIMER2]ボタン、[TIMER3]ボタンを押して同様に設定ができます。
 - タイマを個々にスタートさせる時は[TIMER1]~[TIMER3]のボタンを押します。T1~T3のタイマを同時にスタートしたい場合は[START MEMORY/STOP]ボタンを押してスタートします。
 - 設定された時間が経過するとブザー音が1分間鳴り続け、カウントアップを開始します。タイマを途中で止める時は[TIMER1]~[TIMER3]のボタンもしくは[START MEMORY/STOP]ボタンを押します。
 - ここで[START MEMORY/STOP]ボタンを押すとブザー音が止まり全てのカウントアップが停止します。また[START MEMORY/STOP]以外のボタンを押すとブザー音が止まり鳴動中のブザーに応じたタイマのカウントアップが停止します。(この時、他に動作中のタイマがある場合、そのタイマは動作し続けます)
 - TIMER1~TIMER3のタイマを同時にスタートさせた場合は、最初の設定時間でブザー音が鳴り、ブザーを止めた後、次の設定時間がくると、再度ブザーが鳴ります。TIMER1~TIMER3のブザーは鳴り方が異なるので、どのタイマが動作しているかが判ります。

1.特長

本機はタイマ設定を3種類まで設定可能です。それぞれの設定を“個別スタート”と“同時スタート”が可能で、様々な用途でご使用いただける大変便利なタイマです。また、設定にはメモリ機能が付いているので繰り返し作業にも便利です。その他、12/24時間時計表示やアラーム、カウントアップ機能も搭載しております。

- 折りたたみ式スタンド付。
- マグネット付

2.仕様

最大カウントダウン時間	99時間59分59秒
最小カウントダウン設定時間	1秒単位
最大カウントアップ時間	99時間59分59秒
カウントアップ	1秒単位
設定チャンネル数	3
ブザー音(TIMER1)	ビッ、ビッ
ブザー音(TIMER2)	ピビッ、ピビッ
ブザー音(TIMER3)	ピビビッ、ピビビッ
文字の高さ	9ミリ
時計機能(アラーム付)	有
カレンダー機能	有
タイマメモリ機能	有
重量	約84g
使用温度範囲	0~40℃
電源	LR-44(1.5V) ボタン電池×1個※
寸法	70(W)×82(H)×14(D)mm(スタンド含まず)
マグネットクリップ	有
スタンド	有
付属品	取扱説明書

※本器に内蔵の電池は出荷時動作確認用です。初めてご使用いただく際には、必ず新しい電池と交換してください。

- 同じ設定で再度スタートしたい時は、タイマが停止している状態で[CLEAR]ボタンを押して全ての表示を“00:0000”にした後[TIMER1]~[TIMER3]のボタンもしくは[START MEMORY/STOP]ボタンを押しと先に設定した時間が表示されるので、繰り返し使用できます。
- タイマの設定をクリアしたい時はタイマ設定モードにして表示が点滅している状態で[CLEAR]ボタンを押した後、タイマ設定モードを終了します。
- カウント中に[CLOCK]ボタンを押すと時計モードに切替える事も可能です。この時表示部には“TIMER1”“TIMER2”等の表示が点滅してカウントが動作中である事を知らせます。
- タイマ(カウントアップ)の使用方式
 - 表示切替にてタイマ表示にします。
 - タイマ(カウントダウン)の設定をクリアします。(③、(10)参照)
 - タイマを個々にスタートさせる時は[TIMER1]~[TIMER3]のボタンを押します。T1~T3のタイマを同時にスタートしたい場合は[START MEMORY/STOP]ボタンを押してスタートします。
 - タイマを途中で止める時は[TIMER1]~[TIMER3]のボタンもしくは[START MEMORY/STOP]ボタンを押すとカウントアップした数値をクリアできます。
 - 再度[TIMER1]~[TIMER3]のボタンもしくは[START MEMORY/STOP]ボタンを押すとカウントアップを再開します。
- RESETボタン
RESETボタンを押すと設定した時刻とタイマを初期状態に戻します。ご購入直後の状態に戻したい時や、表示に異常が見られる時等にRESETボタン部を爪楊枝等の先端の細い棒で押してください。この際、極端に先の尖った物を使いますと、折れてけがの原因や、本器の故障につながる恐れがありますので、ご使用はお避け下さい。